

の子孫より天之中まの倫育等所持古き由緒の御士  
より大津より和合より所を修るに漢をふり栗原に  
右二女の外配する所不詳

先生著書

易小解二卷

河圖洛書先天後天の解より  
師卦にあり未全而没す

易繫辭傳小解二卷

孝經小解二卷

孝經或問八卷

大學小解一卷

大學或問二卷

論語小解八卷

中庸小解二卷

孟子小解

宇佐問答二卷

三輪物語八卷

夜會記四卷

集義和書十六卷

集義外書十卷

蕪女物語

葬祭辨書

神道大義一卷

二十四孝評一卷

三神詫解一卷

五倫書一卷

女子訓五卷

女子訓或問

源氏物語外傳五十卷

凡二十三部

右の傳ハ先生ハ著書同自筆の先祖書先生没

289.1

備前國志

後會喪門入乃記録多に據りこれと池田家履歴

畧記備前國臣齊藤清次右衛門一兵著藩山村里老物記多ふ考へ記

し信りぬとあらねど因陋寡聞の拙き筆を以て先

生れ至徳と歎んじと云ふなりし附録を以て

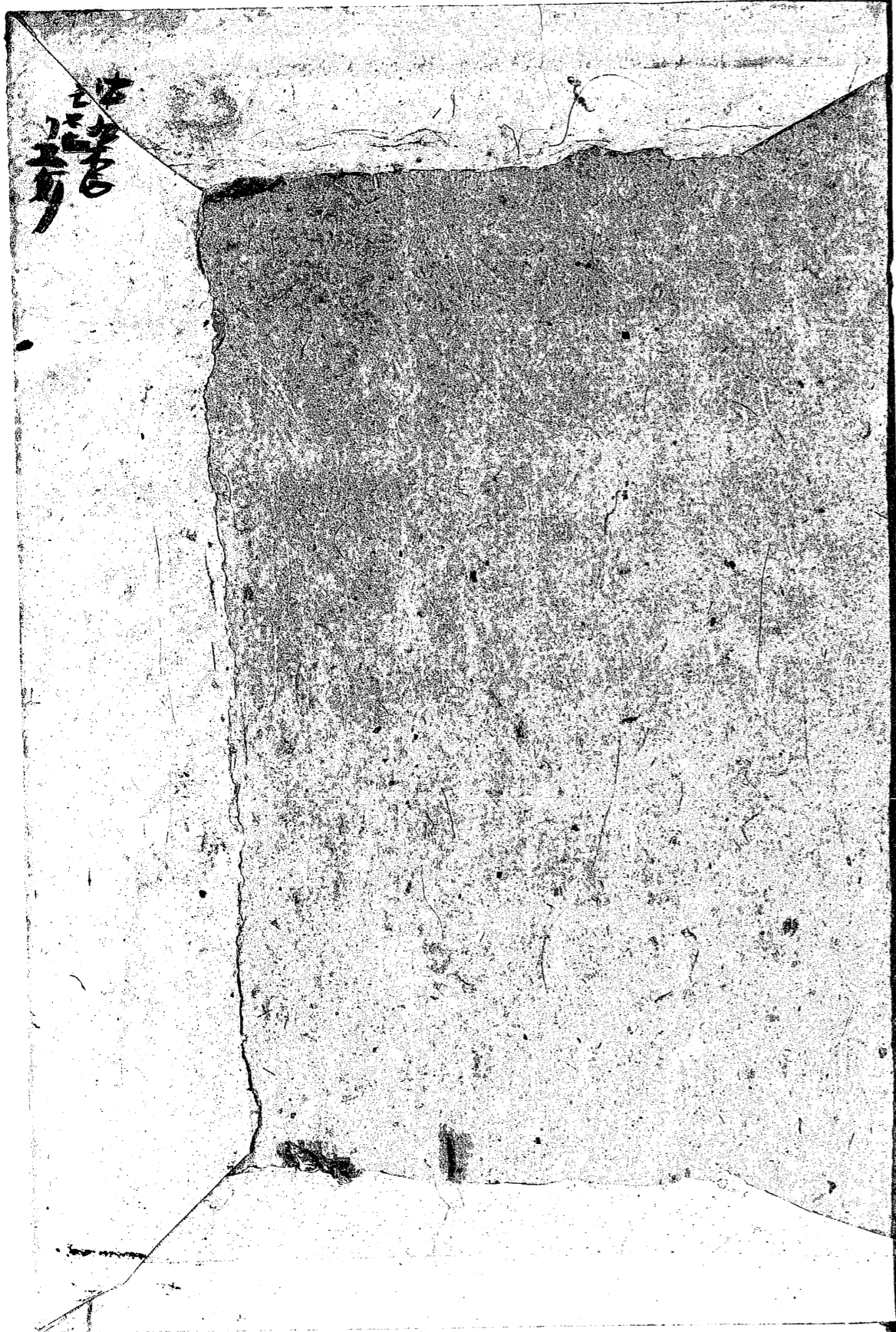
人の考へ備前信の唯其を以易問して至要なる

亦千載も有らば明良の遇多し其深の今ふんせ

るも樂した信りて御甘棠を我りて代る

文化八年辛未秋八月

備前國民卧遊老樵清水信謹識



世  
善  
万

世  
善  
万